

我孫子市定住化策検討 のための学生座談会 実施報告書

平成 25 年 8 月
我孫子市企画課

目 次

1. 実施要領	1
(1) 目 的	1
(2) 実施方法	1
(3) 日時	1
(4) 会場	1
(5) 参加メンバー	1
(6) 班構成	2
2. グループワーク	3
(1) テーマ① 我孫子市のよいところ、悪いところ	3
(2) テーマ② 将来どんなまちで、どんな暮らし方をしたいか	7
(3) テーマ③ 我孫子市が将来住みたいまちになるために	11
3. 若者が住みたくなるまち“我孫子”への道標	13

1. 実施要領

(1) 目的

我孫子市では、これまで子育て支援を中心に若年世代を主なターゲットとした定住促進の取り組みを進めてきたところであるが、東日本大震災以降、一貫して人口減少が続いている。

そのため、我孫子市をよく知っている若年世代の代表として、川村学園女子大学、中央学院大学の学生に、“住み続けるまち”として我孫子市についてどう感じるか、魅力や弱点、他市にアピールすべきポイントなどについて、若者目線で議論してもらい、今後の施策、事業展開の参考とする。

(2) 実施方法

1) 座談会のテーマ

- ①自己紹介
- ②我孫子市のよいところ、悪いところ
- ③将来どんなまちに住みたいか、どんな暮らし方をしたいか
- ④住みたいまちになるために我孫子市に必要なこと
（“こんな我孫子に将来住みたい”我孫子像を提案）

(3) 日時

平成 25 年 7 月 6 日土曜 13 : 00～17 : 00

(4) 会場

中央学院大学 100 周年記念会館 7 階大会議室

(5) 参加メンバー

中央学院大学学生	9 名
川村学園女子大学学生	6 名
中央学院大学 企画課	2 名
川村学園女子大学 学生生活支援室	1 名
株式会社ちばぎん総合研究所	4 名
我孫子市	6 名
合 計	28 名

(6) 班構成

座談会は、1班あたり学生5人の3班構成で実施。それぞれ我孫子市職員、(株)ちばぎん総合研究所の職員がコーディネーターとして参加。

整理番号	チーム	大学名	学部	学年	氏名
1	A	中央学院大学	商学部	2	町田 雄太
2	A	中央学院大学	法学部	3	吉見 のどか
3	A	中央学院大学	法学部	3	鈴木 響一
4	A	川村学園女子大学	教育学部	3	山中 寛子
5	A	川村学園女子大学	人間文化学部	4	河東 亜弓
6	B	中央学院大学	商学部	4	岡本 昂
7	B	中央学院大学	法学部	3	西田 圭亮
8	B	中央学院大学	法学部	4	海老澤 正典
9	B	川村学園女子大学	教育学部	3	福濱 瑛
10	B	川村学園女子大学	生活創造学部	3	南波 沙耶香
11	C	中央学院大学	商学部	3	阿部 颯
12	C	中央学院大学	商学部	3	土佐 祐太郎
13	C	中央学院大学	法学部	4	山田 悠太
14	C	川村学園女子大学	生活創造学部	2	佐々木 麻衣
15	C	川村学園女子大学	人間文化学部	4	水垂 明日香

【学生の属性】

大学・学部・学年	
中央学院大学法学部 4年 2人	川村学園女子大学教育学部 3年 2人
法学部 3年 3人	人間文化学部 4年 2人
商学部 4年 1人	生活創造学部 3年 1人
商学部 3年 2人	生活創造学部 2年 1人
商学部 2年 1人	

性別	
男性	7人
女性	8人

出身地	
我孫子市以外の千葉県	1人
東京都	4人
茨城県	4人
栃木県	2人
埼玉県	1人
宮城県	1人
長野県	1人
大阪府	1人

住所	
市内	3人
我孫子市以外の千葉県	2人
東京都	4人
茨城県	4人
栃木県	1人
埼玉県	1人

2. グループワーク

(1) テーマ① 我孫子市のよいところ、悪いところ

1) チームA

いいところ(プラス)		悪いところ(マイナス)	
印象、雰囲気	のんびりとした雰囲気	治安・行政	不審者情報が多い
	アビコって名前が良い		我孫子市の行事情報がない
	空が広い	もの足りなさ	良い意味での知名度が低い
田舎	我孫子(あびこ)って読めない		
駅	からあげがおいしい		我孫子市の名産物がない
	駅の立ち食いそばがおいしい		風が強い
自然	公園が多い		手賀沼がまだキレイじゃない
	子どもたちが明るい		突風などが多く、そのたびに停電や断水などになる
	自然豊か		新木駅あたりのお店が少ない
	手賀沼の生態系を守っている		我孫子で遊べない
	緑豊か		公民館が少ない
	野生の動物がいる		駐車が少ない
	水場が多くて良い		我孫子駅の方が発達している
	手賀沼のボートは楽しかった		遊ぶ場所がない
	天王台駅のムクドリ対策が自然		宿泊施設がない
野鳥専門の博物館がある	大型商業施設がない		
福利厚生	生涯施設が多い		コンビニが少ない
	風俗がない		駅の周辺にしか店がない(必要最低限)
	障害者施設が多い		駅前が寂しい
	24Hのスーパーがある		駅周辺がさびしい
交通	駅が多い	電車やバスが少ない	
	交通の便が良い	カフェとかがあまりない	
	都内に割りと近い	住んでいる・通っている人の意見	
		ゴミの捨て方が酷い	
		線路が邪魔と思うことがある	
		水がおいしくない	
		JRをへだてて地域に差	
		市内の場所によって発展度が違う	
		公園が暗い	
		細い道が多い	
		道がでこぼこしている	
		坂が多い	
		我孫子市全体の交通の便の悪さ	
		夜が暗い(電灯が少ない)	
		栄橋が渋滞する	
		渋滞がすごい。特に6号	
		交通の便(市内)	
		主観	
		タクシーの運転が怖い	
		電車が通ると揺れる	
		川女の学生寮が柏にある	

2) チームB

いいところ(プラス)		悪いところ(マイナス)	
交通	車があれば住みやすい。穏やか	商業施設	お店を増やして欲しい
	柏、松戸に近いを売りにしたほうがいい		ファミレスが駅近くに欲しい
	JRが通っているのがうれしい		国道が地味ににぎやかでない
	常磐線がある		商業施設が少なすぎる
	電車の数の多さ！常に通っている(田舎より)		天王台にコンビニを増やして欲しい
	茨城にも、東京にもいける		遊び、集れる場が無い
	車道が広い		買い物が不便、コンビニが線路沿いにほしい
	交通は整っている		1つ1つの店に行くのに時間が(歩くと)かかる
自然環境	緑が多い。自然が多い		天王台駅付近にカフェやマックがほしい
	鳥が多い		大学付近にコンビニがない
	ゆったりした景色が楽しめる(成田線)		駅ビル
子育て	託児施設が充実しているイメージ		施設
	待機児童ゼロ	スポーツ施設の乏しさ	
住環境	柏のベッドタウン、いい意味で。	交通	駐車場が少ない？
市民活動	市民団体が多い		車がないと住みづらい
	アビシルベが頑張っている		住宅地に無人駅
	図書館が広い、キレイ！！		バスの本数
観光	意外と名産がある！		常磐線の本数を増やしてほしい
	意外と歴史的な場所が多い		成田線が単線
PR不足			天王台までの各駅停車がほしい
			成田線の本数が少ない
			特別快速が停まらなくて困る(常磐)
			国道を通ってもすぐ過ぎちゃう
			成田線に乗らない！
			柏には行くが、途中の我孫子には行かない
		特徴が特に無いイメージ	
その他		観光のイメージが無い	
		我孫子といえば〇〇！というものがわからない	
		震災以外の問題が	
		我孫子に行くという目的がない！	
		イベントがない	
		駅周辺は栄える以外は田舎のイメージ	
		坂が多いのでチャリ移動も大変	
		緑地、農地の保全から。目にとまるものがない	
		柏市、印西市、守谷市に近い	

3) チームC

いいところ(プラス)		悪いところ(マイナス)	
自然が多い	自然が豊か	6号の混雑、駐車場も混雑、下りの本数(成田線を)	車社会
	自然が豊か		我孫子市駅前の駐車場が少ない
	自然豊か		駅前の路駐が多い
	水のまち		自動車がないと大変
	水の名所		障害のある方、お年寄りが
	手賀沼公園		東京まで遠い
	手賀沼がきれいに		電車少ない
環境	静か		常磐線の特別快速が停まらない
都会へのアクセスが便利(一部へのアクセスはバスが便利)	車(6号)		電車の待ち時間が長い
	都内まで30分		国道6号線の混雑がけっこうひどい
	バスの本数が多い!	企業が少ない、雇用の場も少ない、買い物、寄り道の場が少ない	働く所が少ない
	電車(JR)		目立った商業施設がない
	高速が近い		企業が少ない?!
(柏)まですぐ	ショッピングセンターが近くにない		
	有名な観光地が少ない		
教育施設	「大学」の街		いいお店が少ないと思われがち
	義務教育施設		学生が寄り道するところが少ない
個人店が多い	おいしいお店がたくさんある		コンビニとかが少ない
	市民イベント		コンビニが少ない(?)
	美容室、整骨院がなんか多い		子どもが遊べる場所
保育所に入れる	子どもが多い		子どもが多い
	待機児童がゼロ		ムクドリ、多い
		暗い、田舎	意外と田舎
			夜、暗い
			夜は暗い
			液状化のイメージ
		我孫子のマーケティングが弱い	これといったイメージがない
			うなぎさんの知名度
			目立つ名物とかがわかりにくい
			住民が一体になっていない

4) 総括

- ・ 交通の便については、良いと捉える意見、悪いと捉える意見双方がみられた。
- ・ 鉄道については我孫子駅（中央学院大学）と天王台駅（川村学園女子大学）でも格差があるという意見があり、学生も地域間格差を感じている。
- ・ 道路については車があれば便利という意見がある一方、渋滞が多い、駐車場が少ないというマイナスイメージも持たれている。
- ・ 自然が豊かという意見は多く、手賀沼についてはプラスと捉えられている。
- ・ 子育て支援については我孫子市についての説明の後だったこともあるが、学生にも良いイメージを持たれている。
- ・ スポーツ施設や文化ホールなど生涯学習関係施設の充実を求める声もあった。
- ・ 商業施設が充実していないという意見が多い。日常の買い物からコンビニまで不足感は否めない。
- ・ 一方で買い物は柏に行けばいい、柏はごちゃごちゃしていて住むのには適さないという意見もあった。
- ・ 若者の意見として、おしゃれなカフェや飲食店など居場所がないという指摘もあった。
- ・ 我孫子市のことをよく知らない、我孫子の名物、特長、シンボル等がないという意見は共通していた。加えて、いいものがあるのに情報提供がされていない、PRされていないという意見もあり、情報発信が課題と考えられている。
- ・ 人口が減っているのは震災のせいではなく、それ以前から減少傾向にあったのではないかという意見や、本当の理由は他にあるのではないかという意見があった。



(2) テーマ② 将来どんなまちで、どんな暮らし方をしたいか

1) チームA

交通	駅が近い	印象	観光地として資源に魅力がある所に住みたい
	都心に近い		ブランド力がある
	都内(すぐ近く)		誇れる町
	5～10分の移動で用事が済むような施設がある	施設	病院が近くにある
	最寄駅まで5～10分エリア		福祉施設の多い所
	会社に近い		お年寄りも住める町に住みたい
	交通の便の良いところ		大きな図書館
	職場、学校に近い		バリアフリー充実
	高速が近い		児童施設が多い
	何本も電車やバスが通っている所		
自然環境	景色が良い所 ex)桜並木	商業的	喫茶店が多い
	緑がたくさんある		商業施設が近い所
	公園が多い		近場に大型ショッピングモールがある
	公園がある		お店が多い
	空気がキレイ	イベント	賑わいのある商店街
水場が見えるマンション、アパートに住みたい	大きなお祭り		
生活環境	生活にストレスがない	イベント	地域のイベントが多く参加しやすい
	治安が良い		地域の人と交流のある生活
	治安が良い		人が優しい
	子どもが安全	経済	家賃、立地条件の良いところ
	子育てと仕事ができちゃう		広くて明るい家に住みたい
	静かな住宅街		駐車料金が安い
	スポーツ教室のある施設		地価が安い
	静かな環境		物価が安い
	静かに生活したい		税金が安い
	LTE	パソコン電波が届く(携帯、アンテナ)	

2) チームB

自然	都会・街⇒安心・快適
	気候の涼しい所に住みたい
	緑はなくていい。虫が嫌い。
行政サービス	市役所に楽しい課がある
	スポーツ施設充実
	医療費ゼロ
	市、街が愛せる何かを市民が共有
	市民プールがある
コミュニティ	防災にそなえている町
	年齢層ごとの積極的なイベント・交流
	地域交流のできる町
商業施設	美術館や博物館のある
	おしゃれな街
	ファミレス、チェーン店の飲食店が近くにあるところ
	買い物に不便がないところ
	ショッピングが出来るところ
	カフェが近くにある
トカイナカ	山と海の両方あるところ
	海と山が近い都会に住みたい
	都会な部分と田舎の部分がある
	都会だけど田舎みたいな都会
人	ほどよく人がいない町
	外国人の人が多い所
	人がたくさんいるところ
交通	交通の便がよいところ
	JR,メトロが通っているところ
理想	プール付きのお家
	ハワイに住みたい
	L. A. に住みたい
その他	メインのモノがある(シンボル)
	学校(公立)の頭のいいところが近くにある町

3) チームC

自然がある	自然がある
	自然がある(子育て)
	湖や川が近くにある所
	緑と都会の両立した街
交通の便がよいところ	都会に近い
	都会が良い
	働く場所に近い
	駅近
	学校が近い
	車で住みやすい街
	電車・車などの交通の便が良い所
	交通の便が良い
	図書館などの公共施設が近いといい
治安	治安が良い
	治安が良い
	治安が良い
	「水」に対して安全
市民特典のある所が良い	公共料金が安い
	公共料金
	何かしら助成金がある
	家、マンション購入支援
	市民特典
便利(お店が充実)	便利。やはりコンビニとかたくさんあった方が。
	買い物便利
	お店がたくさん
	公園や店などが充実した所
	利便性
	地元で不便なく暮らしたい
教育環境	英語力のつく環境
	我孫子市といえば大学！
願望(働きたい場所と住んでみたい)	若者がたくさんいる街
	住人が多すぎない
	区画整理された街並み
	ロンドン。住みたい。ブランド力
	綺麗な街並み
	ロンドンの街並み
	ニューカレドニア
自慢できるところがある	自慢できるところがある
戸建てで車持ちの生活	一戸建てに住みたい
	車を持っていたい

4) 総括

- ・ 駅に近い、電車、車の交通の便が良いなど交通利便性についての意見は全ての班で見られた。「交通の便が良いところ」というのは当然の条件、という声も聞かれた。
- ・ 子どもが安全に暮らせる、治安が良いなど安心、安全に生活できる場所という意見が多かった。
- ・ 助成金や住宅購入支援などの市民特典があるという点も魅力的に捉えられている。
- ・ コミュニティ活動や地域交流が活発であることなど、地域活動に対しても関心が高かった。
- ・ 都会だけれど田舎、田舎のような都会、人が多すぎないなど、穏やかさとにぎやかさのバランスを重視する意見が多かった。
- ・ 自慢できるところがある、ブランド力がある、誇れるまち、シンボルがあるなど、まちの特徴、名物、ウリなどがはっきりしていることを求める意見も多かった。
- ・ 買い物が便利、おしゃれなカフェがあるなど、商業施設の充実を重視する意見も多かった。
- ・ 英語力のつく環境、大学がある、レベルの高い公立学校があるなど、充実した教育環境も関心が高い。
- ・ 市に住民協働を全般的に推進する課を設置する、市民と行政の協働によるシンボルづくりを進めるなど、行政サイドと住民の関わり合いについての意見もみられた。
- ・ スポーツ施設や図書館などが使いやすいという点も、学生目線からは非常に重要と捉えられている。



(3) テーマ③ 我孫子市が将来住みたいまちになるために

1) チームA

家族が安心して生活していける町であることをもっとアピールする。(待機児童ゼロ、自然)
郊外に大型商業施設
イベントアピールカ
観光アピール

2) チームB

我孫子市といえば〇〇！を作る (例えば・・・ゆるキャラ、名所、名品)
楽しい課を作る
コミュニティ活動不足(PR)
交通の利便性の向上
公共施設の充実
トカイナカの PR
商業施設の充実(買い物、飲食)
注: 良いまち我孫子の情報発信

3) チームC

①ブランドカ	オシャレな場所、名物を上手くPR(看板、学校、ニュース)、紹介しやすい所に、キャラクター
②住まい	マンション派、戸建派両方のニーズを満たす
③駅前と自然の土地のバランスが悪い	
④治安	暗すぎる所がある
⑤市民特典	〇年住むと・・・
⑥利便性	レジャー、飲み屋、プール、広場(子ども)、ショッピング、図書館、交通
⑦教育環境	図書館(時間短い)、学ぶところが少ない
⑧自然、祭り、川、キャラクター	

4) 総括

- ・ 我孫子市は自然豊かで保育サービスも充実しており、家族が安心して生活できる場所であることをウリにして、アピールすべき。
- ・ 人が多く華やかでにぎやかなまちに住みたいという意見もあるが、多くが都会だけれども田舎、田舎だけれども都会というように、利便性を求める一方で落ち着いた住環境も重視されている。
- ・ イベントは数多く開催されているが、PRができていない。
- ・ 行政と市民の連携という視点から、「楽しい課」の創設。行政側が市のウリと考えているものは必ずしも市民の考えと一致しているとは言えない。市民と行政が「良さを共有できる何か」が必要。
- ・ 交通の便、商業施設については賛否あったが、充実を求める声は多い。
- ・ 若者も地域との関わり、コミュニティ活動についての関心は高い。学生を単に学生としてではなく、一個人として地域の輪の中に取り入れることで、まちの活性化や魅力づくりにつながるのではないか。
- ・ 助成金や補助金など、市民になることで得をするといった施策・事業に魅力を感じている。
- ・ 我孫子といえばこれ、という名物、名産づくりが必要という意見が多かった。うなぎさんのブランド化も検討すべき。



3. 若者が住みたくなるまち“我孫子”への道標

“住めば都”の情報発信

総じて“良いところはあるが、それが活かされていない”、“情報発信が足りない”という意見が全てのテーマにおいてみられた。ものの見方は個人によって異なるものの、我孫子市のことをよく知らない＝情報が発信されていないともいえる。

情報発信の手段が固定化されていないか、広報やホームページへの掲載など従前のPR手法では、時間に追われている若者の耳には届かない。スマートフォンアプリの開発、商業施設や駅構内でのPRなど情報発信の方法は、視野を広げて検討すべきであろう。

市民（若者）と協働で我孫子のウリを研究、開発

「これがあるから我孫子に行こう」、「我孫子にあるこの店に是非行きたい」、「我孫子のこの〇〇が美味しい」など、何か我孫子のウリとなるものを作る必要がある。わかりやすく、目に留まりやすい、キャッチーなものにすることで、若者の目に留まるよう考慮する必要がある。

また、行政側がウリとしてPRしていても若者側はそれを認識していない、あるいは、なぜこれが我孫子のウリなのか理解できない、というケースが多々あることが分かった。ニーズとミスマッチなウリをPRしても大きな効果は得られない。ウリをつくることから若者、市民の意見を取り入れ、共同研究、開発することで知名度もアップし、若者にも受け入れられやすいものとなるだろう。具体的には市内にある中央学院大学、川村学園女子大学とのコラボ商品の研究、開発などを行うと、地域と大学との連携という観点からも注目度は高いものと考えられる。自らPRしなくても、外部から取材されるくらいのウリを開発したい。

うなきちさんについては、キャラクター自体に対する評価は悪くないが、うなきちさん単体ではインパクトに欠けるという意見が散見された。うなぎに関する何かと連携させるなど、うなきちさん関連商品の開発は早急に検討すべきだろう。

市民活動との連携、活用

意外にも若者世代も地域との交流や市民活動に対し積極的であることがわかった。我孫子市は市民活動も活発であり、活動団体数も多いが、この点については若者に認識されていない。市民活動団体の年齢層や活動拠点、地域等が若者とは合わないことが原因と考えられる。

既存の団体との交流、連携を深め、市民活動の中にも若者を取り込めるように配慮するとよい。その際は、学生を一個人としてとらえ、一緒に活動する仲間として認め合う素地づくりも欠かせない。学生は発想が豊かで、ある意味奇抜なアイデアを出してくれることが期待できる。お互いに尊重し合うことで良きパートナーシップが築けるものと考えられる。

可能な範囲で利便性の向上に努める

現状、我孫子駅周辺については総じて「交通の利便性は高い」という評価が大勢を占めていたが、天王台駅以東については「不便」、「電車の本数が少ない」など利便性の向上を求める声も多かった。

また、商業施設に関しては、日常の買い物だけでなく、気軽に寄れる飲食店やカフェ、おしゃれなお店などが欲しいという意見も多々あった。

さらに道路渋滞が多い、国道が混む、など車での移動についても問題点は散見される。

しかし、交通の利便性向上、商業施設の立地に関しては行政だけで対応できる問題ではない。市としてできることは各種機関への要望等にとどまるが、可能な範囲で利便性の向上に努めるべきであろう。

利便性については、人それぞれ捉え方が違う。現状に甘んじることなく、市として改善に努めているという姿勢が重要と考えられる。



